

## 子どもの福祉に関するアンケートへの意見等について

意見等	反映内容・回答
<p>アンケートの対象者について</p> <p>子どもの福祉に関するアンケートは、回答者は保護者となっていますが、小さいお子さまだと違うかもしれませんが、高等養護学校に通っている年代の方々だと自分の将来について色々考えているかと思えます。ご家族が考えていることと本人が考えていることの違いがある場合も反映できる場所はないのでしょうか。</p>	<p>低年齢のお子さまや障がいの程度が重度で意思表示が困難だというお子さまを除いては、お子さまにも回答をいただける設問もありますが、年齢で一律に回答者を保護者とお子さまに分けること、設問ごとに、保護者・お子さまに回答をお願いしたい旨を区切ることが難しく、回答についても複雑になることから、基本的には保護者の方に回答をお願いするという形で調査いたします。</p>
<p>アンケートの対象者について</p> <p>回答は原則として保護者の方にお願ひしますとありますが、障がいを持つ子供のうち重症な方もいて代弁が必要な場合もありますが、理解できる方たちも多く居ます。</p> <p>このアンケートがご両親や身近な方達と共に自分の生き方や生活を考え合う機会を作るものであれば素晴らしいと思ひます。「必要に応じてお子さまと相談していただいて結構です」より、「出来るだけお子さまの考えも入れていただければと思ひます」で良いと思ひますがいかがでしょう。</p>	<p>ただし、「記入に当たって」の注意事項の内容を見直し、できる限りお子さまと相談しつつ回答いただけるように、「アンケートの回答は、あて名のお子さまの保護者の方がお答えください。また、可能な場合は、<u>お子さまの将来のために、お子さまの思いもお聞きいただきながらお答えください。</u>」と修正しております。</p>
<p>問 2 性別の選択肢が、「男」「女」の2つしかありませんが、共生や多様性等を考えると2つしかない選択肢はどうかと思ひます。</p>	<p>問 2 選択肢3「その他」を追加しております。</p> <p>また、但書として「性別のその他とは、性的マイノリティを考慮した選択肢です。戸籍上の区分にこだわらず、1～3の選択肢から1つ選んでご記入ください。」を追加しております。</p>
<p>問 6・問 18 困ったことや疑問に思ふことの相談先として、相談支援専門員を追加していただきたいです。</p>	<p>問 6 に「相談支援事業所」、問 18 に「相談支援専門員など相談支援機関の職員」を追加しております。</p>
<p>問 10 父母の就労状況について、フルタイム勤務なのか短時間勤務なのかを知りたいのであれば、設問の意図をわかりやすく記載した方が良いと思ひます。</p>	<p>問 10 の選択肢1の「正社員又は自営業」を、選択肢「1 正社員など(フルタイム)」と「3 自営業」とに分けております。</p> <p>問 10 の選択肢1・2を「1 正社員など(フルタイム)」、選択肢「2 パート・アルバイトなど(短時間勤務)」と修正しております。</p>

意見等	反映内容・回答
<p>問 21 福祉に関するサービスの種類ですが①現在、利用している②今後、利用したいとあるが、今後、利用を考えていない人もいられることから、③利用を考えていない欄も設けてはどうでしょうか。</p>	<p>問 21 に「③今のところ必要ない」欄を追加しております。</p>
<p>問 21 サービスの種類に「居宅訪問型児童発達支援」を追加してはどうでしょうか。</p>	<p>問 21 に追加しております。</p>
<p>問 21 福祉に関するサービスについて、18 歳以上の方のアンケートでは、利用している方に対して評価を聞いているので、同じように評価を聞いてはいかがでしょうか</p>	<p>子どものアンケートは、手帳やサービスを受けている子が兄弟で複数いる場合、保護者が一人一人について回答をすることとなりますことから、保護者の負担を考慮して、サービスの種類ごとの評価については記載しませんが、問 22・問 23 でサービスの利用時の困りごと、今後力を入れてほしいサービスを回答していただくことで、そのニーズと要望を把握いたします。</p>

※資料 3-2 の赤文字は、第 2 回策定委員会の資料から修正した部分です。